

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】平成30年2月1日(2018.2.1)

【公表番号】特表2017-508030(P2017-508030A)  
 【公表日】平成29年3月23日(2017.3.23)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-012  
 【出願番号】特願2016-544153(P2016-544153)  
 【国際特許分類】

**C 0 9 D 11/326 (2014.01)**  
**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**  
**B 4 1 M 5/00 (2006.01)**

【F I】

C 0 9 D 11/326  
 B 4 1 J 2/01 5 0 1  
 B 4 1 M 5/00 1 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月15日(2017.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水性媒体、分散された顔料着色剤、分散されたポリウレタンポリマー、および分散されたオレフィンイオンコポリマーを含んでなる、インクジェットインク。

【請求項2】

前記分散されたポリウレタンポリマーが、5～50mg KOH/gポリマー固体の酸価を有する、請求項1に記載のインク。

【請求項3】

前記分散されたオレフィンイオンコポリマーが、75～230mg KOH/gポリマー固体の酸価を有する、請求項2に記載のインク。

【請求項4】

前記分散されたポリウレタンポリマーと前記分散されたオレフィンイオンコポリマーとの重量比が、0.2:1.0～1.0:0.2である、請求項3に記載のインク。

【請求項5】

非プロトン性非極性溶媒をさらに含み、前記非プロトン性非極性溶媒が、セバシン酸ジベンジル、アジピン酸ジイソブチル、ジエチレングリコールジブチルエーテル、メチルイソブチルケトンテトラエチレングリコールジメチルエーテルプロピレングリコール、メチルアミルケトン、ジアセテート、プロピレングリコールメチルエーテルアセテート、ジプロピレングリコールメチルエーテルアセテート、エチレングリコールn-ブチルエーテルアセテート、ジエチレングリコールn-ブチルエーテルアセテート、ジプロピレングリコールジメチルエーテルおよびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項2に記載のインク。

【請求項6】

分散されたオレフィンイオンコポリマーが、エチレン/アクリル酸、エチレン/メタクリル酸、プロピレン/アクリル酸、プロピレン/メタクリル酸、コポリマー、それぞれのターポリマーおよびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項2に記載のインク

。

## 【請求項 7】

前記分散された顔料が、自己分散性顔料である、請求項 1 に記載のインク。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0116

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0116】

本発明のインクは、比較インクよりも良好な耐久性、少ないインク移動および迅速な乾燥を示す。

以下に、本発明の好ましい態様を示す。

[1] 水性媒体、分散された顔料着色剤、分散されたポリウレタンポリマー、および分散されたオレフィンイオンコポリマーを含んでなる、インクジェットインク。

[2] 前記分散されたポリウレタンポリマーが、5 ~ 50 mg KOH / g ポリマー固体の酸価を有する、[1] に記載のインク。

[3] 前記分散されたポリウレタンポリマーが、15 ~ 35 mg KOH / g ポリマー固体の酸価を有する、[1] に記載のインク。

[4] 前記分散されたオレフィンイオンコポリマーが、75 ~ 230 mg KOH / g ポリマー固体の酸価を有する、[2] に記載のインク。

[5] 前記分散されたオレフィンイオンコポリマーが、110 ~ 200 mg KOH / g ポリマー固体の酸価を有する、[4] に記載のインク。

[6] 前記分散されたポリウレタンポリマーと前記分散されたオレフィンイオンコポリマーとの重量比が、0.2 : 1.0 ~ 1.0 : 0.2 である、[5] に記載のインク。

[7] 前記分散されたポリウレタンポリマーと前記分散されたオレフィンイオンコポリマーとの重量比が、0.5 : 1.0 ~ 1.0 : 0.5 である、[6] に記載のインク。

[8] 非プロトン性非極性溶媒をさらに含んでなる、[2] に記載のインク。

[9] 前記非プロトン性非極性溶媒が、セバシン酸ジベンジル、アジピン酸ジイソブチル、ジエチレングリコールジブチルエーテル、メチルイソブチルケトンテトラエチレングリコールジメチルエーテルプロピレングリコール、メチルアミルケトン、ジアセテート、プロピレングリコールメチルエーテルアセテート、ジプロピレングリコールメチルエーテルアセテート、エチレングリコール n - ブチルエーテルアセテート、ジエチレングリコール n - ブチルエーテルアセテート、ジプロピレングリコールジメチルエーテルおよびそれらの混合物からなる群から選択される、[8] に記載のインク。

[10] 前記非プロトン性非極性溶媒が、ジプロピレングリコールジメチルエーテルである、[9] に記載のインク。

[11] 分散されたオレフィンイオンコポリマーが、エチレン / アクリル酸、エチレン / メタクリル酸、プロピレン / アクリル酸、プロピレン / メタクリル酸、コポリマー、それぞれのターポリマーおよびそれらの混合物からなる群から選択される、[2] に記載のインク。

[12] 前記分散されたオレフィンイオンコポリマーが、エチレン / アクリル酸コポリマーである、[11] に記載のインク。

[13] 前記インクがオフセットメディアに印刷される、[2] に記載のインク。

[14] 前記分散された顔料が、自己分散性顔料である、[1] に記載のインク。

[15] 前記分散されたポリウレタンポリマーと前記分散されたオレフィンイオンコポリマーとの重量比が、0.2 : 1.0 ~ 1.0 : 0.2 である、[14] に記載のインク。

。

[16] 非プロトン性非極性溶媒をさらに含んでなる、[15] に記載のインク。